

令和2年度施政方針
(凡を重ねて非凡と為す)

(令和2年第1回定例会)

令和2年2月27日

川島町

それでは、議長のお許しをいただきましたので、本定例会においてご審議をいただきます諸案件に先立ちまして、令和2年度の町政経営に関する基本的な考え方を申し述べさせていただきます。

「凡を重ねて非凡となす」

私の執務室に掲げてある額に入っている言葉です。この額を眺めながら、当たり前前のことを当たり前前にとの大切さ、難しさを日々、感じております。職員にも「小さなこと、誰にでもできることをおろそかにしては、大きな仕事はできない」と、凡事徹底の意識を持つよう、常々話しております。

平成28年に移転したこの庁舎も、おかげさまで、この1月で5年目を迎えることができました。日頃は、職員自らが整理・整頓・清掃といった3Sを心がけており、快適な環境づくりに努めております。昨年は、かわじま☆未来塾の皆さんを中心に、新たなイルミネーションイベントを開催いたしました。

時代とともに変化していける、そんな庁舎でありたいと考えております。

今後も、町民の皆様と一緒に、地道にコツコツと、薄皮を一枚一枚重ねるように、町の未来を創っていく所存です。

(オリンピック・パラリンピック)

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会がいよいよ、この夏に開催されます。新型コロナウイルスによる感染の問題が不透明ではありますが、成熟期を迎えた日本が、この大会を通してどのように世界に発信していくか、期待するところであります。

また、川島町は東京 2020 パラリンピック聖火リレーの実施自治体の一つに選定され、8月20日に通過することに決定いたしました。みんなが調和し、活かしあう社会にするために、最高のおもてなしを考えていきたいと思っております。

(総合振興計画)

平成23年度を初年度とした、第5次川島町総合振興計画の構想期間が令和2年度で終了いたします。前・後期10年間の計画の成果を検証するとともに、今後10年間の町のグランドデザインを描くため、第6次の総合振興計画を策定いたします。併せて、川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略についても期間を1年延長し、第2期を策定することといたします。

(総合型地域スポーツクラブ)

幅広い世代の方々が、各自の興味や関心、競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供しようと準備を進めてきた、「川島町総合型地域スポーツクラブ」がこの3月4日に設立する運びとなりました。スポーツ愛好者の高齢化や中学校の部

活動の問題など、課題は多くありますが、みんなで支えあうクラブとして充実をさせていきたいと考えております。

(災害対策)

各地で大きな被害を出した台風19号。川島町はまさに間一髪のところで大きな被害とならずに済みましたが、初めての避難勧告、避難指示を発令し、職員総出で対応に全力であたりました。結果として、さまざまな課題が浮かび上がってきたことは、議員各位も周知のとおりでございます。そこで、来年度から、災害対策を強化するため、新たに（仮称）防災対策室を設置し、災害時高台避難所の整備を含め、スピード感を持って対処していく所存です。

(ゼロウェイスト)

2市6町1村で構成された埼玉中部資源循環組合が、この3月31日をもって解散することとなりました。日々の生活から出るごみ処理は、私たちにとって欠かすことのできない課題であります。今後の廃棄物処理施設のあり方や資源循環のまちづくりを目指すためにも、令和2年度から新たに（仮称）ゼロウェイスト推進室を設置することといたしました。先進性のある施策となるよう、果敢に取り組んでまいります。

(人材育成)

「まちづくりは人づくりから」といわれます。また、武田信玄の言葉には「人は石垣、人は城、人は堀、情は味方、仇は敵なり」があります。10年先、20年先の川島町の姿を思い描いたとき、主体となって動くのは何と言っても職員であると考えます。川島町がさらにステップアップするために、来年度を「人づくり元年」とし、人財育成に取り組んでまいります。

以上、来年度の主要な施策を申し上げました。

しかし、来年度予算を編成するにあたっては、10億を超える収支のかい離がある厳しい状況でもあったことから、この予算を「忍耐の予算」と名付けました。やらなければならないこと、手を付けておかなければならないことをしっかりと精査し、重点的に配分したものとなっております。その結果、

一般会計は71億4,600万円となり、前年度比3億7,200万円、率にして5.5%の増となりました。

また、特別会計は、国民健康保険特別会計が1.4%減の23億8,000万円、学校給食特別会計が3.2%減の6,730万円、介護保険特別会計が2.0%増の17億9,600万円、後期高齢者医療特別会計が5.9%増の2億3,400万円、そして水道事業会計が1.8%増の7億9,914万円、令和2年度から公営企業会計となる下水道事業会計が44.0%増の11億8,678万円となっております。

なお、予算に基づく主要事業は、令和2年度予算案の概要や「令和2年度予算書」をご参照くださいますようお願いいたします。また、傍聴の皆様や町民の皆様にはお手数でも情報公開コーナーや町ホームページでご覧いただければ幸いです。

むすびに、2期目の2年目となる令和2年度は、公約で掲げた諸項目をさらに加速、推進、具現化させ、町民の皆様の負託に応えられるよう、全身全霊で進めていく所存です。

きたるべき令和2年度も、職員一丸となり、「チームかわじま」として、また「ワンチーム」「ワンファミリーかわじま」として、町民の皆様の立場に立った町政を経営してまいります。

町民の皆様並びに議員各位におかれましては、「未来に明るい希望が持てる魅力あふれる川島町」の実現に向け、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。令和2年度の町政経営に対する方針とさせていただきます。

令和2年2月27日

川島町長 飯島和夫